

第11回「八戸工業大学同窓生の集う会」案内

盛夏の候、同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

3月11日に発生した東日本大震災で被災された同窓生の皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念いたします。

さて、第11回八戸工業大学同窓生の集う会を下記の通り八戸市で開催いたします。

今回の集う会では、これまで以上に多くの同窓生の皆様に参加していただき、同級生、先輩後輩・大学の教職員の方々と親交を深めていただきたく存じます。特に、平成22年度卒業生の皆様は、震災により学位記授与式後の謝恩会等が実施できなかったこともありますので、ぜひこの機会を利用して楽しいひと時を過ごしていただければと考えています。

皆様お誘い合わせのうえ、ぜひ参加していただきますようお願い致します。

実行委員長 平 章秀

◎日時：平成23年9月23日（金）秋分の日

第一部 14:00～15:00 講演会

第二部 15:30～18:00 第11回同窓生の集う会

◎場所：八戸グランドホテル

〒031-0031 八戸市番町14 TEL. 0178-46-1234

◎会費：5,000円（当日会場受付にて申し受けます）

ただし、平成20年～22年度卒業生および女性は2,000円といたします。

【参加お申し込み先】

氏名、卒業学科、卒業年度、（ご存知の方は学籍番号もお願いします）を記載の上、下記メールアドレスにお申し込みください。

同窓会本部事務局：dosokai@hi-tech.ac.jp

八戸工業大学 同窓会報

HIT Alumni Association Journal

第17号
8月発行

八戸工業大学
同窓会本部事務局

TEL:0178-25-8027

FAX:0178-25-3827

印刷・編集 榊同窓会事務局

関東支部同窓会のご案内

日時：平成23年9月10日（土）16:30～

場所：八重洲富士屋ホテル

会費：8,000円（平成20年度以降卒業生及び女性は5,000円）

東北支部同窓会のご案内

日時：平成23年9月17日（土）18:00～

場所：ホテルレオパレス仙台東口

会費：4,000円

秋田支部同窓会のご案内

日時：平成23年10月15日（土）18:30～

場所：協働大町ビル

会費：5,000円

北海道支部道南分会同窓会のご案内

日時：平成23年10月29日（土）18:30～

場所：REST BAR MUSK

会費：5,000円

※各同窓会ともに大学から多数の教職員が参加する予定です。

詳しくは同窓会HP（<http://alumni.hi-tech.ac.jp>）にてご確認ください。

未定情報および参加教職員については、決定次第HPでお知らせします。

※同窓会への参加申し込みは、同窓会本部事務局（dosokai@hi-tech.ac.jp）でも受け付けます。

八戸工業大学修復中。

平成23年3月11日（金）発生しました東日本大震災で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い、復旧・復興がなされますことを切にお祈り申し上げます。

大学は、キャンパス内の建物にひびが入る、体育館の天井が一部崩落する等の被害はあるものの、大きなダメージはなく、ライフラインも翌々日には復旧しました。現在は、体育館天井並びに外壁等の修復作業が行われています。写真は本館中庭（小便小僧と池のあるスペース）の外壁補修の様子です。



HAMS(メールマガジン)会員 登録のご案内

登録手順1 仮登録

普段お使いの携帯電話もしくはパソコンから、下記アドレス宛に空メールを送信します。携帯電話をご利用の場合、QRコードからのアクセスが可能です。

hams@alumni.hi-tech.ac.jp

登録手順2 本登録

空メールを送信した携帯電話もしくはパソコンに、自動で返信メールが届きます。返信メールの本文中にあるURLにアクセスすることで本登録が完了します。



平成22年度八戸工業大学同窓会事業報告及び決算報告

平成22年4月1日～平成23年3月31日

事業報告

<本部>

| 月 日 | 事業内容 | |
|-----------|--|------------------|
| 6月19日(土) | 臨時理事会・定例代議員会 | 17時30分 |
| 8月初旬 | 同窓会会報16号発行 | |
| 9月18日(土) | 本部総会 東京 (関東支部主催) 第一部 総会・記念講演 第二部 集う会 | 14時00分 15時30分 |
| 11月6日(土) | 定例理事会 | 13時00分 |
| 11月16日(火) | 工大グループ同窓会連絡会 | 18時30分 |
| 3月19日(土) | 学位記授与式 | 10時00分 |
| 3月19日(土) | 定例理事会 (震災により延期) | |

<支部・分会>

| 月 日 | 事業内容 | |
|--------------|---------------------|--------|
| 4月17日(土) | 関東支部第1回役員会 | |
| 4月20日(火) | 東北支部幹事会 | 19時00分 |
| 5月22日(土) | 八戸工業大学学匠会幹事会 | 18時30分 |
| 6月26日(土) | 関東支部第2回役員会 | |
| 〃 | 拓北会総会・懇親会 | 17時00分 |
| 7月9日(金) | 第1回水交会役員会・懇親会 | 19時00分 |
| 7月10日(土) | 北海道支部総会・幹事会 | |
| 7月21日(水) | 拓北会卒業生による講演会(第一回) | 14時30分 |
| 7月24日(土) | 平成22年度水交会総会・講演会・懇親会 | 18時00分 |
| 7月30日(金) | 拓北会役員会 | 18時30分 |
| 8月6日(金) | 東北支部幹事会 | 17時30分 |
| 8月11日(水) | 秋田支部役員会 | |
| 8月21日(土) | 東北支部幹事会 | 17時30分 |
| 〃 | 拓北会役員会 | 13時30分 |
| 〃 | 東北支部総会 | 17時30分 |
| 9月4日(土) | 関東支部第3回役員会 | |
| 9月6日(月) | 平成22年度第2回水交会役員会・懇親会 | 19時00分 |
| 9月18日(土) | 関東支部 第10回同窓生の集う会開催 | |
| 10月2日(土) | 拓北会役員会 | 13時00分 |
| 10月9日(土) | うみねこ会役員会・幹事会・懇談会 | 18時30分 |
| 10月9・10日(土日) | HITA2010(拓北会会員作品展) | 10時00分 |
| 10月12日(火) | 秋田支部役員会 | |
| 10月23日(土) | 北海道支部道南分会総会 | |
| 10月27日(水) | 拓北会役員会 | 18時30分 |
| 10月29日(金) | 秋田支部総会 | |
| 11月17日(水) | 拓北会役員会 | 18時30分 |
| 11月20日(土) | 関東支部第4回役員会 | |
| 〃 | 平成22年度シビル会同窓会 | 19時00分 |
| 11月26日(金) | 拓北会 卒業生による講演会(第二回) | 10時30分 |
| 11月27日(土) | 東北支部幹事会 | 17時30分 |
| 〃 | 拓北会 HITA2010記念事業 | 17時00分 |
| 12月10日(金) | 拓北会 卒業生による講演会(第三回) | 12時50分 |
| 1月20日(木) | 拓北会 卒業生による講演会(第四回) | 12時50分 |
| 1月22日(土) | 北海道支部幹事会 | |
| 2月4日(金) | うみねこ会幹事会 | 12時00分 |
| 2月5日(土) | 拓北会役員会 | 17時00分 |
| 2月22日(火) | 蒼峰会 M専攻 激励会 | 18時30分 |
| 3月12日(土) | 北海道支部幹事会 | |

決算報告

一般会計

収入の部

| 項 目 | 本年度予算額 | 決算額 | 差 異 |
|--------|------------|------------|-------------|
| 会 費 | 6,660,000 | 6,340,000 | △ 320,000 |
| 会報協力費 | 800,000 | 461,650 | △ 338,350 |
| 広告収入 | 480,000 | 150,000 | △ 330,000 |
| 雑収入 | 40,000 | 27,745 | △ 12,255 |
| 前年度繰越金 | 8,703,042 | 8,703,042 | 0 |
| 収入総計 | 16,683,042 | 15,682,437 | △ 1,000,605 |

支出の部

| 項 目 | 本年度予算額 | 決算額 | 差 異 |
|---------|------------|-----------|-------------|
| 会 議 費 | 400,000 | 193,482 | △ 206,518 |
| 旅費交通費 | 1,600,000 | 1,344,400 | △ 255,600 |
| 印刷費 | 1,000,000 | 499,654 | △ 500,346 |
| 通信費 | 900,000 | 893,011 | △ 6,989 |
| 支部関係 | 1,350,000 | 899,210 | △ 450,790 |
| 運営費関係 | 50,000 | 10,102 | △ 39,898 |
| 分会助成費関係 | 2,100,000 | 1,213,906 | △ 886,094 |
| 業務委託費 | 500,000 | 63,000 | △ 437,000 |
| 積立金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 |
| 慶弔費関係 | 300,000 | 305,156 | 5,156 |
| 予備費 | 7,483,042 | 360,718 | △ 7,122,324 |
| 支出総計 | 16,683,042 | 6,782,639 | △ 9,900,403 |

収入総計(決算額)－支出総計(決算額)＝次期繰越金 8,899,798 円

特別会計

| 項 目 | 本年度予算額 | 決算額 | 差 異 |
|--------|------------|------------|-----|
| 当期積立金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 |
| 前年度繰越金 | 18,000,000 | 18,000,000 | 0 |
| 計 | 19,000,000 | 19,000,000 | 0 |

平成22年度監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。

平成23年5月25日

監事 千葉 兼喜
監事 石藤 千春

平成23年度

● 定例代議員会報告

平成23年6月18日(土)、八戸グランドホテルにおいて平成23年度定例代議員会が開催されました。初めに東日本大震災で犠牲になった方々に黙とうをささげ、協議に入りました。第1号議案では、9月23日(金)に開催する「第11回同窓生の集う会」について審議され、各分科会から実行委員を選出して主管の感性デザイン学科に協力することが了承されています。第2号議案では、教職に就いている同窓生による「同窓教職員の間」を同窓会組織に編入することが承認され、あわせて浅利能之同窓教職員の会会長を理事として選出しました。第3号議案では平成22年度の事業報告ならびに決算について報告があり承認されました。第4号議案では平成23年度の事業計画と予算案の説明があり承認されました。併せて次年度以降の運営予算案が提示され、収支バランスの維持について次回以降の理事会等で継続審議していくこととなりました。第5号議案では分会助成費の決算報告時期を3月末とすることが承認されました。報告第2号では、白川会長より東日本大震災の被災者に対する八戸工業大学同窓会からの支援を行うため、「八戸工業大学同窓会災害基金」の口座を開設して募金を募っていること、紹介がありました。また、今後開催が予定されている支部総会や同窓生の集う会でも募金を呼び掛けていくこととし、募金への協力要請がありました。なお、代議員会における議案および報告は次に示すとおりです。

● 議案

- 第1号議案 第11回同窓生の集う会に関する件
- 第2号議案 同窓会会則の改正(「八戸工業大学同窓教職員の会」の同窓会組織への編入)に関する件
- 第3号議案 平成22年度同窓会事業報告及び決算に関する件
- 第4号議案 平成23年度同窓会事業計画及び予算に関する件
- 第5号議案 八戸工業大学同窓会会則13条にもとづく学科同窓会助成費の運営について(申し合わせ)の改正について
- 第6号議案 その他

● 報告

- 第1号 八戸工業大学同窓会便覧(2011)発行について
- 第2号 「八戸工業大学同窓会災害基金」について
- 第3号 その他

平成23年度

● 「第9回北海道支部同窓会」

平成23年7月9日(土) 18時30分から、アートホテルズ札幌において第9回北海道支部総会が開催されました。同窓生および大学教職員あわせて50名ほどの参加があり、日頃疎遠になりつつある卒業生同士や恩師との情報交換、交流を深めながら、同窓であることの絆を再確認しました。今年は、3月の東日本大震災を受けて「みんな、がんばろう 日本!」を合言葉に、会場では被災地への募金活動も行われました。

余興では、支部の宴会部長である永田相談役の進行により、あつち向いてやホイ!や暗算ゲーム、ヒコキ飛ばし、コーラいつき等の勝ち抜きイベントを行い、大いに盛り上がりました。見事、優勝に輝いたのは、震災の被災地である遠く福島県から駆けつけてくれた田代豊彦(産業機械工学科、昭和55年卒)さんでした。大変おめでとうございました。

また、お忙しい中参加いただいた大学教職員に對してお礼を申し上げます。なお、来年度の記念すべき第10回支部同窓会も7月に開催する予定です。多くの同窓会会員の参加を心よりお待ちしております。

八戸工業大学同窓会

北海道支部

支部長 大道宏満



来年度(18号)会報に会社やお店の広告を掲載してみませんか?ご希望の学科ページに掲載することも可能です。同窓生の皆様宜しくお願い致します。詳しくは、同窓会HPでもご案内しています。多数の応募をお待ちしております。

| | |
|-----------------|---------|
| 1コマ (約6cm×4cm) | 30,000円 |
| 2コマ (約12cm×4cm) | 60,000円 |
| 3コマ (約18cm×4cm) | 応相談 |

お問い合わせ先

八戸工業大学同窓会本部事務局

〒031-8501 青森県八戸市大字妙字大開88-1

TEL 0178-25-8027/FAX 0178-25-3827

E-mail dosokai@hi-tech.ac.jp

広告募集

蒼峰会 活動報告

新任紹介

機械情報技術学科 浅川 拓克



平成23年4月から八戸工業大学工学部機械情報技術学科に所属し、自動車工学コースの学科と実習を担当させて頂いております。

まだまだ新人ですので、皆様の足手まといとならないようにするだけで精一杯ではありますが、将来的には、自動車工学コースを北東北の自動車教育の拠点となるよう努力していきます。

いきなりと考えております。さらに、新たな環境のなか、皆様のご指導・ご鞭撻を頂戴しながら、研鑽・努力し己自身を成長させていきたいと思っております。

ここで、昨年度までの経歴等について簡単にご紹介させていただきます。平成22年度まで、岩手県の盛岡中央高等学校において教員として18年間勤務し、その間、学年長や自動車工学科の学科長をしておりまして、また、平成20年度より、「第3次学校改革」を担う部署「ゼロ・トレーニング推進室」を立ち上げ、室長をしておりまして、

また、外部団体では、「盛岡地域生徒指導連絡協議会」の次長、「北盛岡地域児童生徒健全育成推進連絡協議会」の理事等を経験し、生徒指導に関する業務を中心に行っております。

大学での業務は、全く未知の分野ではありますが、高校教員時代の経験を活かし、微力ながら本学の教育にも力を尽くしたいと思っております。

最後に、私の本学への採用に際し、大変なご尽力を賜りました。学科長の黒先生はじめ、入試部長の齊藤先生そして昨年度でご勇退なされた田高先生や多くの方々々に御礼を申し上げます。

自己紹介

工作技術センター 日影 学

平成23年4月より八戸工業大学・工作技術センターに勤務し、実習では手仕上げを、テクニカルサービス等ではいままでの経験をいかして業務にあたっております。



前の勤務先の株式会社菅原デイーゼルテナンス、据付工事機械保全作業に16年間従事していました。

工作技術センターに勤務して6月で3ヶ月になりましたが、民間会社での勤務が長かったこともあり、初めての教育機関での仕事には悪戦苦闘する日々が続いております。

機械情報技術学科3学年機械工作実習が始まっています。が新米指導員の私が担当している工作実習(手仕上げ作業)での指導方法について玉川邦夫係長を始め、スタッフの皆さんから適切なアドバイスを頂いております。

実習課題での文鎮の製作は、けがき作業・やすり作業・穴あけ作業・ねじ立て作業・組立て作業を4コマで完成できるように指導しております。

特にやすり作業ではノギスで寸法を測定し、光明丹で「あたり」をチェックしながら平面に加工するやすり作業は学生にとつて難しく、私(仕上げ・一級機械組立技能士)の経験を活かして指導しています。

文鎮の製作を通じて手仕上げに興味を持って頂き、ぜひ学生たちには技能検定(仕上げ・機械組立て作業)にチャレンジしてもらいたいと考えています。また、後期のロボット創作では学生たちがどんなロボットを製作しコンテストにのぞむのか今から楽しみにしています。

最後に私の趣味ですが、自転車(ロードバイク)と溪流釣り(毛ばり)で、春から秋にかけて松館川等で楽しんでいます。

興味がある方がいらしたら、ぜひ声をかけてください。皆様、どうぞ、宜しくお願いいたします。



諫言

蒼峰会 機械系同窓会

会長 下館 政美

発行されますことを心からお慶び申し上げます。

会員の皆様方の中に、このたびの東日本大震災の被害を受けた地域の

出身者も多数いると思ひ、心よりお見舞い申し上げます。近年、卒業生の就職先では原燃関係に就く方が多く、自動車コースに継ぎ原子力コースを設けることを大学側に要望しようと思つていたところに、今回の福島原発事故です。青森県内は原子力関係の事業所が多く、関連会社を含め就職した方々ほどのような気持ちなのか考えると複雑です。浅学な私が思う気持ちを少し述べたいと思ひます。

私が中学生の時です。クラス担任でありませんが会社の定年近い先生でした。時間に余裕があったので、廊下で会い「下館君一言言つておくれ、君は特別善良な事をしなくてもよいが、人に迷惑をかけることだけは、しない人間になれ」と言われこの年まで守つて来たつもりです。

特別な学問、スポーツに秀でたことのない生徒だった私に大きな衝撃を指導の言としてこれからの安全を守りついで高度技術の固まりの原発が自信に満ちた安全を売り物とし国策として発展した結果、現実的に人々に多大な迷惑を掛け、傾きかける電気事業所を思うと私を現実指導した先生を尊敬します。

津波事象があるとしても絶対的安全を考えたいただらうか。

配管の安全について話します。原子力の安全規格を良く知りませんが、作業員にどのような資格を求め、何ガルの安全を考へていたのか、先生方が知つていたら教えてください。

新聞等で見ますれば700ガル以上の揺れに対応した配管と言われますが、私が配管を商売にして暮らしてきました。震度6程度で工場配管は、被害が発生します。八戸の大きな工場はその程度です。原発の耐震性は、飛行機が落ちても十分耐えうると思いますが、配管の耐震規格は溶接、ねじ込み締め付け、高圧パッキンなど、もし十分でないなら今回の事故を教訓に研究して学生に自信を持って原子力関係に卒業生を送りたいと思ひます。資源の少ない日本に住んで、賛成反対を言うつもりではありません。人間が最大の資源です。研究を進め可とするなら発展させ、不可とするなら勇気を持つて止めれば良いと思ひます。

八戸工業大学のさらなる躍進と共に同窓会の発展、会員皆様のご活躍を望み発刊の言葉とします。

がんばろう東北、がんばろう八工大

私事ですが、会長職を長らく務めましたのが後輩に道を譲り、助言していきたくおもひます。

補修部品&ケミカルの総合ブランド。 **PITWORK**

全メーカー 全車種対応

高品質なパーツを効率的にお届けします。

日産部品青森販売株式会社
本社 千030-0142
青森県青森市野木野尻62-6
Tel 017-729-2305

水交会活動報告

OB・OGだより

二二一 さん

昭和63年 電気工学科卒（藤田研究室）
現在：KDDI株式会社ネットワークオペレーションセンター



この度の東日本大震災で被害に遭われた多くの方々に深くお見舞い申し上げます。震災当日は、ネットワークオペレーションセンター勤務で、KDDIネットワークの被災状況確認と復旧手配の取り纏めの一端に関わっております。学生時代を過ごした八戸が津波に呑まれる映像や仙台方面の被害映像をTVで見つづ運用室におりました。たので、被災情報に心を痛めながら仕事に当たっていました。さて、現在の私の担当業務は、法人向けデータ通信サービスの設備保全です。日本国内全体のデータ通信を運用監視する部署になりますので、責任とやりがいを感じ日々の業務をこなしています。

1988年3月に電気工学科を卒業以来、20年以上が過ぎました。学生時代は漠然と通信関係に進路に志望し、就職先もそれに沿う所を選びました。就職当初は電話交換機的设计に関係してました。その後転職して、携帯電話のシステム運用から、営業支援などを経験し、携帯電話の発展過程の中から見てきました。業務で使用した資格としては、第一級陸上特許無線技士で、携帯電話の無線基地局の保守運用担当をいたしたときに選任されてきました。なお、この免許は現4年生から所定の単位修得で取得可能とのことです。現在は、IP系の業務ですのでルータ等の知識が必要でCCNP(Cisco Certified Network Professional)も取得しました。



平成2年 電気工学科卒（安藤研究室）
現在：株式会社ラックマーケティングコミュニケーション

奥天 陽司 さん

こうして大学のOB会報に自分のことを寄稿することになるとは、1990年に卒業する時には思ってもみなかったことです（笑）正直、学生時代は優秀な成績ではなく、先生たちに単位を懇願した記憶ばかり

思い出されます。素晴らしい自然の中で、モータースポーツが目覚め、今の妻と知り合ったのも八戸。私の人生の重要なことはすべて八戸大時代に培いました。

最初に入社した東芝では、大規模プロジェクトのマネジメントを学び、Windowsシステムに惚れてマイクロソフトへ転職しました。マイクロソフトではサステイニングエンジニアとして、Windowsなどのソフトウェアのバグ修正を担当し、その業務のなかで、ウィルスの調査をする機会に恵まれ、セキュリティの世界に入り込みました。米国に先駆けて日本にセキュリティの専門チームを組織し米国本社に組織をコピーするなど、日本の活動範囲を拡大する一方、日本政府との連携を強めることで2006年の総務大臣表彰をいただくに至りました。現在は13年務めたマイクロソフトを退職し、セキュリティコンサルティングおよびマーケティング経験を強みに、日本のセキュリティサービス企業のラックでセキュリティサービスを日本に根付かせるマーケティング活動を行っています。

大学を卒業して20年を超えた今でも思うことは、八戸大でコンピュータの基礎を学び人間との関わりを鍛えられたことは今でも私の強みだと思います。なにより生活環境としては恵まれたとは言えない階上町で、自分の将来だけを見据えた学生生活を送れたことは、東京で青春を謳歌した若者と一線を画していたと思います（笑）

同窓生としての抱負

大山 貴史 さん

平成23年電子情報システム学科卒
就職先：青森日揮プラント株式会社



八戸工業大学での4年間は本当に短かったと感じます。それは充実した生活を送っていたからかも知れません。その一つが学習支援室のアルバイトです。自分で考え、判断し、そして行動に移すという社会人としての基礎を学ぶことができました。学習支援室のアルバイトは、初め頼まれたからという理由でやっていたのですが、続けることで見えてくるものがあり、積極的にやってみなければわからないということを改めて感じさせられました。

二つ目が卒業研修です。根城教授のご指導の下、核融合装置の壁材の温度変化シミュレーションを行いました。研究室で過去に扱ったことのないSC/SC複合材料及びベリリウムの研究はゼロからのスタートでしたが、学科で学習した知識をフルに使ったという実感を味わえ、自主的に学習する習慣も身につけることができました。卒業後は県内に残って働きますが、海外等様々な場所に行く機会もあるので、学生生活で培った経験をもとに常に何かに挑戦し、生涯学び続ける、そんな人生を歩んでいきたいと思います。

同窓生に贈る言葉

名誉教授 佐藤 正毅 先生（平成23年3月退職）



同窓生の皆さん、この3月で八戸工業大学を定年退職となりました。38年間、皆さんと過ごした愉快な日々を思い出します。また皆さんからは、卒業研修を通して、私の研究に大きな力をいただきました。感謝いたします。

それにしても、多くの犠牲者をだしている、日本史上最大の東北関東大震災の起きた年の3月に退職となつてしまいました。同窓生の皆さん大丈夫ですか。困ったことがあつたら大学に知らせてください。八戸工業大学は、きっと皆さんに救いの手を差し伸べてくれます。もしも、皆さんの近くに震災で困っている人がいたら、救いの手を差し伸べて下さい。どうしてこんな悲惨なことが起きたのか、これから私たちはどうやって日本を立て直すのか、これからの社会、政治、経済、教育、科学と技術などのあり方が問われています。震災による被害を悲愴で大きくしているのは、科学と技術へのこれまでの過信ではないでしょうか。これからは高慢な科学技術から謙遜な科学技術への転換が必要と思われまふ。

八戸工業大学の「良き技術は良き人格から生まれる」をいつも思い出して、人間を磨きながら仕事に励んで下さい。これが、皆さんの健康が守られ、それぞれの職場で任された仕事を着実に仕上げ、堅実な歩みをなすことができますよう、お祈りしています。

学科近況報告

電気電子システム学科長 関 秀廣 先生

佐藤正毅先生が3月に定年退職されました。佐藤先生は本学に38年奉職され、電気工学を通して自然と人類が調和した社会形成の必要性を説き、その信条に共感を受けた学生も多かったと思います。先生は名誉教授の称号を得られ、非常勤講師として引き続き本学の教育に当たって頂いております。また、4月より新たに佐々木崇徳助教を迎えることになり、ネットワークや衛星情報解析等幅広い分野で活躍頂いております。また、技術職員では戸沢晃さんが総務課へ異動し、パイオ環境工学科から新たに細越寿則さんを迎えることになりました。さらに、本学科は3月に第一級陸上特許無線技士と第二級海上特許無線技士の資格認定学科となりました。現4年生から適用され、学科所定の科目を修得すれば卒業後申請のみで資格が得られることとなります。

最適環境空間を最新の技術でお届け致します。

三宝電機株式会社

URL: <http://www.seamec.co.jp>

各種電気・計装制御・空調衛生・クリーンルーム設備等
総合設備の企画・設計・施工・メンテナンス

東京支店 〒105-0003 東京都港区西新橋3-8-35 デック新橋ビル5F
TEL.03-5472-3311 FAX.03-5472-0065

シビル会 活動報告

平成22年度 シビル会同窓会開催

平成22年11月20日(土)19時より、あっぱれ屋(ヴィアノヴァビル 地下1階)を会場として、平成22年度シビル会同窓会を開催しました。同窓会では、卒業生および教職員30名が出席しました。参加した卒業生は、日頃疎遠になりつつある卒業生同士や恩師との交流を深めながら、大いに盛り上がる会となりました。参加いただいた同窓生の皆様ならびに大学教員に対して厚く御礼を申し上げます。

企業・OB講演会



平成23年1月21日(金)10時30分より、環境建設工学科3年のキャリアプランニングIIの授業の一環としてOB・企業講演会を開催しました。企業講演会では、第1期生の石藤千春さん(三並建設株式会社 専務取締役)に、企業の立場から講演をしていただきました。講

演では、挨拶の大切さや時間を守ることなど社会人としての心構え、建設業の職種毎の仕事内容の説明ならびに仕事仲間との付き合いの大切さや酒の限界を知ることなど経験に基づいた石藤さんの話は学生にとって普段聞くことのできない貴重な機会となりました。



OB講演会では、第18期生の佐藤正視さん(株式会社興和)に、先輩の立場から講演をしていただきました。講演では、社会人としての心構えや今大学でできることを一生懸命がんばり自分に磨きをかけてること、人とのつながりを大切にすること、そして給料の3倍働くことなど今後の就職活動の参考になる貴重な機会となりました。

講演会は、就職活動本番を目前にした学生にとって今後を考える上でとても有意義な物になりました。ご多忙の中、ご協力いただきました石藤さん、佐藤さんに対して、厚く御礼申し上げます。

東北新幹線全線開業記念講演会を開催

東北新幹線全線開業を祝い、鉄道関連技術に対する理解を深めることを目的に、平成22年11月3日(水)

に青森市文化会館において東北新幹線全線開業記念講演会「環境共生の駅舎建築と環境保全の鉄道建設」が来るぞ!東北新幹線!」を開催しました。5件の講演があり、鉄道施設の建設を担当した(独)鉄道・運輸機構から八戸―新青森間の概要説明、世界最長の複断面陸上トンネル「八甲田トンネル」環境保全対策、地域との調和を考慮した施設整備および寒冷・積雪地における雪害対策について講演をしていただきました。

JR東日本(株)からは、今年3月上旬にデビューした新型高速新幹線車両「はやぶさ」の開発について最新技術、デザインおよび国際的競争について講演をしていただきました。

講演会には、卒業生など約120名の市民および建設関係者に参加していただき新幹線建設について理解を深めることができました。八戸―新青森間の新幹線関係工事には、多くの本学科卒業生が係わっており、皆様にとって全線開業は感慨深いものがあったのではないのでしょうか。



講演会の様子

拓北会 活動報告

「建築工学専攻大学院に入学して」

博士前期課程一年、菅原雄一
同、佐藤陽貴

昨年度まで建築工学科の担任を務め、また数年前から拓北会の大学側事務局を担当したこともあり、さまざまな形で拓北会員からご助力を仰ぐことができました。会員による講演等でも今年の卒業生は多くを学ぶ機会を与えられ、ここに卒業生に代わって御礼を申し上げる次第である。同窓会報に寄稿依頼があったこの際に、卒業生を代表して、今年から大学院で学ぶことになった菅原君と佐藤君に一文を寄せてもらうことにした（土木建築工学科、高橋康造）。

「大学院入学以来の近況」

菅原雄一 (M114012)

大学院入学以来、学部時代とはさまざまな点で環境の変化があったが、なかでもすぐに学会発表の機会が与えられ、その準備でついこの間まで息の抜けない時期を体験したばかりである。また最近東日本大震災の被害調査を行うことになり、その調査結果を分析するうちに修論のテーマが固まってきた。震災で被害を受けた地域では小中学校が避難所になるケースが少なくなかったが、今後もこのような天然が生じた場合これらの学校が再び避難所になることに鑑みて、このような避難所の立地条件や交通手段との関連、避難経路の確保などについて建築工学的



菅原君の近影

くを教えていただいた。とくに昨年の拓北会の記念行事であるHITA2010に参加して、先輩会員がさまざまな分野で活躍されているのを目の当たりにした。できれば会の行事に学部生や院生が積極的に参加できるようにすれば、学生たちは一層多くのことを先輩から吸収できるのでは、と考えているところである。

今は研究に明け暮れる毎日であるが、元来志望していた教員を目指して採用試験に向けてその準備も並行して進めるつもりである。修士論文を仕上げるまで忙しい毎日が続きそうである。

「大学院での研究テーマ」

佐藤陽貴 (M114011)

6月24・25日に秋田市で開催された第74回日本建築学会東北支部研究報告会の材料施工部門にて、卒業研究の成果として「コンクリート表層部脆弱層の形成に関する研究 ―部材断面厚による検討―」と

題し発表させて頂きました。

この研究は、コンクリート表層部に形成される脆弱層が部材断面厚によって脆弱さや厚さの変化や、内部に比べどの程度の品質差が生じるのかを強度、劣化抵抗性、透気性などの巨視的特性と細孔構造、ピッカース硬さなど微視的特性の両面から定量的に評価することを目的とした研究です。



研究報告会で発表する佐藤君



コンクリート反発度測定試験

研究の分野において基本的問題点を投げることができると考えています。

今後は、継続研究として、水セメント比を変更したコンクリートで同様の試験を行い、水セメント比による脆弱層形成への影響を研究していきたいと考えています。

学匠会 活動報告

■絶不況!!

〜夢追い人とリアルとの聖戦〜

生物環境化学工学科

1期生

村上 雅人



アフガン戦争が勃発して以来、石油関連の商品や灯油・ガソリンが軒並み値上がりして、リーマンショックが追い打ちをかけるように世界中の景気が悪い方向へ進んでいきました。

学生の頃は、ニュースや新聞で頻繁に見かけていた「不況」という文字は単なる文字でしかなく、現実味は全くありません。

それが、大学卒業後に就職した食品会社が小麦の原料高の影響がもたらした直撃して経営が一気に破たん。

これが社会人になって最初に会おうリアルな世界でした。

大学という特異的な場にいる学生は、あり余る時間を自由に使い、面白くもない講義の単位を取ってしまえば、卒業をすることは簡単なことで、この特異的な場が社会の縮図であると勘違いをしたまま卒業した私の頭の中は、楽観的なことしか考えていませんでした。

最初に勤めた会社の初任給が10万ちょつとでも生活を切り詰めれば、問題ないと考えて勤めていた2年間に貯金できた金額は、ほぼゼロで、月々に必要な家賃や

光熱費を支払えば、手元には、わずかなお金しか残らない現実を受け止め、これも不景気のせいだと耐えていても、給料は上がるところか、サービス残業に休日出勤というボランティア、最後は、経営がままたず給料の30%カット、生活をするのが出来ない状態となり退職するも会社は4ヵ月後には倒産しました。

その後は、偽ITのベンチャー企業に再就職し、日に16時間の激務に耐え、月の給料が20万を超えるようになり、日々の生活が一転して夢のような毎日が続いていたが、新たに立ち上げたプロジェクトが見事に失敗し、半年後に2度目の倒産を味わう羽目になり、初めて無職と軽度のうつ病を体験し、人生に終止符を打ちそうになるも最後の決断をする勇気もなく、ハローワークで仕事探しの日々と今までの人生を振り返る日々の中である言葉が頭をよぎりました。

“これまでの人生はなんだったのだろうか。”

朝になると職場へ行き、仕事が付くと部屋へ戻り、疲れが取れないままに食事を簡単に済ませて寝ると朝が来て、同じことを1週間続けてまた翌週には、先週と同じことを繰り返して、1ヶ月が過ぎるとまた同じことを1ヶ月やり続け、日々の生活のことで精いっぱい毎日が当たり前になっていくけれど、子供のころに想像していた大人の世界は、もつと夢が溢れていたはずなのに・・・リアルの世界は、夢を語ることを許してはくれない。

これからは、震災の影響で日本の景気は悪化して生活の基準は、ノスタルジックに変化していくが、単に仕事をこなすだけでなく、アイデア一つでどん底からトップへのし上がれる熾烈な競争社会が現実になってきた今を生き残るためには、リアルと向き合いながら胸を張って語れる夢を追い続けられる人間だけが充実した未来を席巻していくジャパンドリームが到来することを切に願って今回の締めくくりとします。

■同窓会あいさつ

バイオ工学科長 若生 豊

同窓生の皆様、私はこの4月よりバイオ環境工学科長を拝命することになりました。微力ながら学科の教育研究の発展ならびに社会貢献に全力を尽くす所存でございますので、ご指導・鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。また、同窓生の皆様には日頃より大学の運営に對しまして多大のご支援・ご援助を賜り深く感謝申し上げます。

この度の東日本大震災では、多くの人命が失われ、現在も多くの人々が様々な苦難に苛まれています。お亡くなりになられた方の冥福をお祈りしますとともに、全ての被災された方に衷心よりお見舞いを申し上げます。

さて、バイオ環境工学科は前身となる生物環境化学工学科から数えると、今年はこちらより10年の節目を迎えることとなります。本学科はバイオと環境工学により、環境に負荷を与えない豊かな社会を実現する技術を追及することを目的に誕生した学科で、資源・環境問題に直面している今日、本学科の取り組みは重要性を増していると考えています。平成21年度にカリキュラム改正を行い、学科名称を現在のバイオ環境工学科へと変更し、同時に食品衛生監視員および食品衛生管理者資格の養成施設の認定を厚生労働省より受けております。平成24年度の春には食品衛生関連資格の認定を受けた卒業生が誕生し、この資格が学生の卒業後の活躍に少しでも役立って行くことを願っています。また、本学は全ての学科で充実した技術者教育を実施することとしており、現在、本学科では将来の技術者を育てる教育プログラムの受審の準備を進めています。バイオと環境工学の複合技術を自在に運用できるエキスパートを育成するという次の次元に向けた取り組みを進めています。

エネルギー工学科を含めると、本学

科も約30年の伝統が築かれつつあります。改組、名称変更を経て今日に至っていますが、本学科の学生が目標とする、エンジニアや分析、プラント等の分野で活躍できる専門的な基礎力の獲得を目指す教育は一貫して不変の方針と考えます。本学科からも多くの同窓生が誕生しており、現在、食品・製薬、環境関連（環境分析等）、設備、化学工学関連など広い分野の企業等で活躍されているところですが、同窓生諸氏の中には組織を支え、社会的に責任ある立場で力を振るわれている方も多数おられます。学生の就職に際しても、影に日向に同窓生のご支援や、社会的信頼に支えられて決まることも少なく無く、大変有難く感謝しているところです。私たちにとりましては同窓生の活躍は何よりの励みでありますが、翻って、私たちは同窓生の母校である本学、本学科の発展に對する責任を一層痛感するものです。継続的な学科の社会への発信が必要であり、本学科の教授であった小山先生には、ホタテ貝殻セラミックスの研究の発展により、八戸工業大学、並びに生物環境化学工学科の存在を全国的に知らしめる際立った情報発信をして頂きました。現在、伊藤教授、高橋准教授のグループはマイクログラブルのプロセス開発を産学連携で精力的に展開しており社会に向けて情報発信しています。今日は経済状況も含め極めて困難な時代となっておりますが、私たち教員一同は力を合わせ教育研究並びに社会貢献を、活発に展開し、大学発展が継続することを誓いし挨拶と致します。



株式会社ザックス
http://www.i-zaxx.com

理化学機器・放射線関連製品・試薬・エアフィルター等の販売
化学工場及び研究施設の運転・保守・計量証明・化学分析業務 等

八戸営業所 八戸市南郷3丁目-21
TEL: 0178-73-3620

事業所: 東通村、六ヶ所村、大間、八戸、青森、弘前、北海道

うみねこ会 活動報告

OB・OG近況報告

○宇部 智行

(平成21年度卒業生：日本電波(株))

入社して早一年が経とうとしています。仕事も楽しいですが、やはり飲み会が一番楽しいです。仕事の話を抜きにして、上司や先輩などと気兼ねなく冗談を言い合える場には、純粹に居心地の良さを感じます。



現在、私はプログラマとして新商品の開発を任されていますが、開発を進めていく上で、自分には出来ないことや解らないことなどは、それこそ山のようにあります。他の課員の方の助力がなくては仕事になりません。そういった背景もあり、今は周りとの連携を一番大切にしています。

先々の震災では、被災地の方々は勿論のこと、日本全体の産業が多大な影響を受けました。私の勤め先もその例外ではないのですが、こういう時だからこそ、周囲との繋がりを大切にしながら、技術者としての自分出来ることを考え、力をつけていきたいと思っています。

○齋藤 真人

(平成21年度卒業生：サクサシシステムエンジニアリング(株))

私はサクサシシステムエンジニアリング株式会社で働いています。この一年で設計、製造、試験を通し、一つの製品を開発するまでの過



程を経験しました。このときの経験から、一人では不可能なことでもチームでなら可能にすることができるといふことを、身をもって学ぶことができました。現在は大きなプロジェクトに参加し、同僚や先輩方に助けられながら頑張っています。

仕事の息抜きやコミュニケーションの一環として、休日は同僚や同級生達とスポーツをしたり、同級生と飲み会を開いたりしています。大学生活での思い出を話しているときは懐かしくもあり、とても楽しい時間となっています。

今の自分があるのは皆さんのおかげです。これからも皆さんとの思い出を大切に、日々目標達成に向け努力していきたいです。

○長嶺 峻

(平成21年度卒業生：八戸工業大学大学院)

大学院に進学し1年4カ月が経過しようとしております。私は学部時代とは異なる研究室に配属され、研究テーマも以前行っていた「新しい思考ゲームの開発」とはがらっと変わり、現在は「壁走行可能な見守りロボット構築」というテーマで研究を行っております。

以前の研究では主にソフトウェア関係の作業を行っていたためパソコンに向かう事がほとんどでした。現在の研究では、先輩が作った壁移動ロボットの無線化や軽量化に伴い新たなボディの構築を行う等、ハードウェア面の作業が増えたため作業台に向かう機会が多くなりました。私はもともと手先が器用な方ではないため、壁移動ロボットの改造にはとても苦労しておりますが、この作業を通してロボットの仕事に勉強し、少しずつ



つ理解を深めております。就職活動は、今年の5月上旬に情報系の企業から内々定を頂くことができました。社長からは、私に組み込み系ソフトウェア開発をさせるつもりでいると聞いております。壁移動ロボットにも特定の動作を行わせるために組み込みシステムを使用する予定なので、研究で学ぶことを企業で活かすため、残りの大学院生活を充実させるよう努力します。

卒業生向けのIT資格受験サービス

システム情報工学科では、IT系の様々な資格を受験できるテストセンター(ピアソンVUEテストセンター)を学外に向けて開放し、在学生はもちろん卒業生も受験できるサービスを開始しています。

テストセンターの利用や受験に関するお問い合わせ・受験申込は、左記メールアドレスまでご連絡ください。

受付担当：小玉 (narumi@hi-tech.ac.jp)

- 主な受験可能資格
- シスコシステムズ認定試験 (CCENT, CCNAなど)
 - オラクル認定試験 (ORACLE MASTER Bronzeなど)
 - CompTIA認定試験 (CompTIA A+ Essentialsなど)
 - Linux Professional Institute認定試験 (LPIC Level 1など)
 - MySQL認定試験 (Certified MySQL Associateなど)
 - VMware認定試験 (VCP4 Certificationなど)
 - Zend PHP認定資格 (Zend PHP 5 Certificationなど)

第9回うみねこ会開催案内

毎年恒例のシステム情報工学科同窓会「うみねこ会」を学園祭初日に開催します。今年で9年目を迎え、毎年多くの教職員・卒業生が集まっています。卒業生なら誰でも参加可能ですので、是非御参加ください。詳細は後日「うみねこ会」Webページなどでお知らせします。

開催日：平成23年10月8日(土) (学園祭1日目)
 内容：学内で幹事会、その後八戸市内で懇親会を予定しています。
 参加予定教職員：栗原伸夫、藤岡与周、小玉成人、伊藤智也、山日康之(他多数)

申し込み先：katsuiji@hi-tech.ac.jp (うみねこ会会長 齋藤克治)
 うみねこ会URL：http://alumni.hi-tech.ac.jp/umineko/

Jimo-lution
 ソリューション
 ソリューション/モバイル/サポート・教育支援/インターネット/サービス・技術の維持向上
 地元ならではの、きめ細かなサポートと、システム開発からモバイル、プロバイダ、ソフト支援、パソコンショップまで、地域で発展してきた様々なノウハウと経験、トータルなコーディネート力を活かし、地元ならではのITソリューション「問題解決」を行う企業を目指しています。
kbs 使う人の近くで、使う人の気持ちで、お客様満足度の向上に努めています。
 株式会社 ビジネスサービス 八戸支店
 TEL.0178-46-2083 FAX.0178-46-2029
 八戸市緑通9丁目5-3 http://www.kbs-web.com

感性デザイン同窓会 活動報告

第11回 同窓生の集う会へのご協力のおかげ

感性デザイン同窓会会長・平章秀

(平成20年度卒業・第1期生)

みなさん、如何お過ごしでしょうか。感性デザイン同窓会会長平章秀です。早いもので、感性デザイン同窓会卒業生も3期生まで輩出いただくことができました。これまで先生方の指導に心から感謝を申し上げます。さて、同窓会誌の表紙にもありますように、今年度の同窓生の集う会は感性デザイン学部が幹事役となって執り行われることとなりました。しかしながら、卒業生も100名をようやく超えた状況ですので、できるだけ全員に集まっていたらいいと思います。

今回の同窓生の集う会には二つのコンセプトがあります。一つ目は、昨年度卒業した第3期生のみならず、東日本大震災の影響で学位記授与式を体育館で実施することができず、また毎年恒例の卒業祝賀会も中止となってしまいました。4年間共に学んできた仲間や教職員の方々や卒業生を祝い、新しい門出をお祝いする大切な行事が中止となつてしまっている、そんな残念なことだったのでしようか。そこで、同窓生の集う会は少し遅い卒業祝賀会としての意味も込めて実施したいと考えております。二つ目は、感性デザイン同窓会の活性化です。この会に参加していただく同窓生の仲間や先輩方との交流を深め、同窓会の重要性を実感していただくことを目的としています。以上のように、是非とも9月23日の同窓生の集う会の時、是非ともできる限り日程を空けていただき、ご協力をお願い申し上げます。感性デザイン同窓会を成功させるために、感性デザイン学部をはじめ、工学部の先輩方にも様々なご支援をいただきたいと思いますので、よろしくお祈り致します。



感性デザイン同窓会会長・平章秀さん(右)、同窓生の集う会副実行委員長・石橋貴さん(左)

OB・OGだより

川村友果子さん

(平成22年度卒業・第3期生・柳田名部組 営業部 営業一課)

大学を卒業してから数ヶ月が経ち、分からないことだらけの仕事にも少しずつ慣れつつあります。希望していた地元企業へ就職出来たのは、ご指導くださった諸先生方のおかげです。

現在は営業部に所属しており、住宅関連の展示会の開催や、広告づくり、学生対象のアンケート実施等、大学時代に学んだ内容を活かせる幅広い業務内容です。展示会の際には新聞折込チラシの原案づくりやPOP作成、図面へのカラーリングなど、授業で学んでいたイラストレーションを活用しての接客や、ローラー営業も苦ではありません。コミュニケーション力の高さが私の長所と捉えているので、これからもたくさんのお客様に会ってお話しできる喜びを感じていきたいです。

学生対象のアンケートは、八戸市の街づくりに貢献してきた当社にとって、現在の学生が、生活環境にどのような問題点があり、どのような対策が必要なのか調査するため、母校であるK科全学年対象で調査させて頂きました。震災の影響で大変な中、ご協力いただき、学部長をはじめとする更なる方には感謝いたします。社会人のアイスホッケーチームがあり、大学時代4年間、八戸工業大学のマネージャーを務めていたことを活かして当社のマネージャーをやることになり、仕事でも趣味でも、好きなことをやることになり、日々思っています。おもしろいことと頑張ろう、と味があり、現在住宅の仕事をしている事は私にとつては大きなチャンスです。お世話になつた方々、期待してくる方々のために、努力を忘れず頑張ります。最後にありがとうございます。有難うございました。先生、友人に感謝しています。

学科を訪ねてくれました!

小野香織さん(旧姓:鈴木)

(平成21年度卒業・第2期生)

先日、学科の廊下に普段耳慣れない、天使のような赤ちゃんの泣き声と小さなお子さんの声が心地よく響いておりました。普段は子どもたちの声など聞くことのできない環境なので、とても新鮮でした。ふと見ると、第2期生の小野香織さんとお子さんでした。女子学生さんとお子さんがお話を聞かれました。あやしくお話を聞かれました。香織さんには2人のお子さんがおり、まず母親らしい顔つきとなられた香織さんに先生方も感心しております。香織さんは昨年の12月25日、クリスマスに一風(いちばん)ちゃんを出産されました。成大(せいだい)君も6月に2歳となり、明るく賑やかな家庭を築かれています。現在は旦那さんの仕事先の秋田にお住まいですが、地元の八戸にも時々帰って来られているようです。また遊びに来て、感性デザイン学科に新鮮なお子さんの声を響かせて下さいね!



学科を訪ねてくれた香織さん、せいたくん、いちなちゃん

お元気ですか? 元担任より

感性デザイン学部感性デザイン学科講師・安部信行 (第3期生副担任)

東日本震災により被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。みなさん、お元気でお過ごしでしょうか? 今回は特に、この春卒業された第3期生のみならず、メッセ1期を送らせていただきます。

第3期生のみならず、3月19日の学位記授与式は、共に準備を進めていたにも関わらず、東日本震災の影響で八戸へ戻つてくるのができず、みなさんの門出をお祝いすることができなかつたこと、本当に残念でなりません。私は吹奏楽部の指揮を担っていたので、学位記授与式では、吹奏楽部の指揮者の後ろに感性デザイン学部の座席です。授与式最後は退場曲の指揮棒を振り、退場していき、みなさんの思いながら涙することが夢だつたのにも関わらず、その状況で席を立つことができませんでした。私自身本当に申し訳ない気持ちでいっぱいでした。出席することができなかつた方々におられた方々は学位記授与式に参加する機会がなかった方々です。授与式に出席できなかった方々も、みなさん、特別の思いがあると思います。卒業された方々への思いが、みなさんの周りの方々のために尽力していただければと思います。卒業祝賀会(謝恩会)のリベンジとして、9月23日の全体同窓会を企画しております。みなさんと是非とも再会したいです。遅ればせながら卒業のお祝いをさせていただきます。勿論、1、2期生とも再会したいです。みなさんと再会できることを楽しみにしています。

おわりに(事務局より)

いよいよ、第11回同窓生の集う会を感性デザイン学科が中心となり企画をさせていただきます。運びとなりました。会場からのお問い合わせ、表紙にもあります通り八戸グランドホテルにて実施されます。この会の成功には感性デザイン学部卒業生の参加が不可欠です。お忙しい中にもかかわらず、ご理解いただき、参加していただければ幸いです。よろしくお祈り致します。



塗装中の三春屋路上ペイント(八戸市中心部)

なお、感性デザイン学部では今年度も学生と企業等によるデザインコンラボ企画が大盛況となっております。6月は八戸市中心部の三春屋路上ペイント企画が実施されました。坂本学部長をはじめ、学生有志の作業により、写真のよう三春屋路上ペイントが完成しました。三春屋のバス停前なので大変目立ちます。近くを寄られた際には是非ともご覧下さい。

同窓会事務局の連絡先（各種連絡先としてご利用下さい）

本部事務局（学務部学生課）
TEL.0178-25-8027 E-mail:dosokai@hi-tech.ac.jp

機械工学科・産業機械工学科・機械情報技術学科（機械情報技術学科事務室）
TEL.0178-25-8010 E-mail:dosokai-m@hi-tech.ac.jp

電気工学科・電気電子工学科・電子知能システム学科（電子知能システム学科事務室）
TEL.0178-25-8020 E-mail:dosokai-e@hi-tech.ac.jp

土木工学科・環境建設工学科（シビル会事務室）
TEL.0178-25-8067 E-mail:dosokai-c@hi-tech.ac.jp

建築工学科（建築工学科事務室）
TEL.0178-25-8040 E-mail:dosokai-a@hi-tech.ac.jp

エネルギー工学科・生物環境化学工学科（生物環境化学工学科事務室）
TEL.0178-25-8050 E-mail:dosokai-p@hi-tech.ac.jp

システム情報工学科（システム情報工学科事務室）
TEL.0178-25-8080 E-mail:dosokai-i@hi-tech.ac.jp

感性デザイン学科（感性デザイン学科事務室）
TEL.0178-25-8070 E-mail:dosokai-k@hi-tech.ac.jp

同窓教職員の会事務局（入試部入試課）
TEL.0178-25-8000

同窓会事務局から

●ご家族の方へ

本誌同窓会報をご家族の方が見て同窓生本人が見ていないことがあるようです。お手数ですが、ご子女に了承いただき同封の表紙にご子女現住所等必要事項をご記入のうえ、フリーFAXにてご送付下さい。

●同窓生の皆様へ

会報が届かない、見たことがないといった同窓生がおりましたら、本部事務局まで、電話またはメールで送付先（氏名、現住所、学籍番号または卒業年科）を連絡するようお願い下さい。また現住所等変更になりましたら、速やかに同窓会事務局までご連絡下さるようお願いいたします。

協賛金のお願い

平成14年3月に同窓会報第1号（創刊号）を発行以来、号を重ねて今回も約12,000名の会員にお届けすることができました。会報を通して、新たな会員相互の親交が生まれたというお話を伺います時、発行の継続が同窓会本来の目的に叶っていくものと考えます。今後、会報発行を維持していくための費用として、皆様には昨年からの協賛金のお願いをさせていただいております。次号もまた、皆様からの様々なご意見に耳を傾け、魅力ある紙面づくりに頑張っております。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

同封物の見方

貴方の整理番号です。

住所未確認（不明者）リスト
現在、住所が判らず会報等をお届けできない方々です。貴方の同期に近い方と、ご近所の方を抜粋しました。ご存知の方がいらっしゃいましたら、情報をお寄せ下さい。また、ご提供いただきました情報の取り扱いについては細心の注意を払っておりますので、安心して情報をお寄せ下さい。

住所・お勤め先が変わられた方で、FAXをご利用の際ご利用下さい。

携帯電話からも住所変更出来ます。

同窓会活動を永続的なものとするため、毎年、協賛金を募っております。何卒できるだけご協力お願いいたします。

現在、同窓会でお預りしている貴方の情報です。

住所未確認者をお知らせいただくのにご利用下さい。

お近くの郵便局または、コンビニエンスストアをご利用下さい。

貴方の学籍番号です。

〈お問い合わせ〉

フリーダイヤル 0120-10-9899（内線92） 平日10:00～17:00
フリーFAX 0120-10-9184 24時間受付